

### 当院の放射線科の特徴

放射線科は、診断、治療、核医学の3部門に分かれています。

**診断部門**は、CT 診断、MRI 診断、多種の血管造影検査、塞栓術、生検、ドレナージ、超音波検査（腹部、乳腺、甲状腺、頸動脈、皮膚）、マンモグラフィなどを施行しています。

MRI は 3 テスラの最新装置を含む 2 台、CT は最新の 64 列装置を含む 3 台を使用し、放射線診断専門医が読影を行います。

**治療部門**は、3次元治療が行える放射線治療装置を使用し乳癌、肺癌、前立腺癌、食道癌、膀胱癌、骨転移など、主に悪性疾患に対する放射線治療を行っています。治療装置は、世田谷区で唯一の装置でもあり、他病院からの紹介患者様も多く見られます。

**核医学部門**は、多種の放射性同位元素を静脈内に注入することにより、骨、心臓、脳等に集積し、その集積の状態から、機能画像を見ることができます（骨シンチグラフィ、心臓シンチグラフィ、脳シンチグラフィ）。

それにより、転移性骨腫瘍、虚血性心疾患、パーキンソン病、アルツハイマー病などの診断を補助することができます。

他科との連携を密にし、定期的なカンファレンスを行い、科学的根拠に基づいた治療（EBM）を行っています。

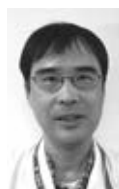


国内有数の3.0 テスラ MRI は、従来より詳細に脳血管を撮影することが可能です。

### 診療体制

診断部門は、CT、MRI の読影は、張医長、吉村医長。血管造影、CT ガイド下生検、CT ガイド下ドレナージは吉村医長。超音波検査施行、読影、超音波ガイド下生検は國又医長、核医学検査の読影は吉村医長、胸部 CT ドックの読影は服部部長が中心に行っています。

治療部門は、服部部長が行っており、泌尿器科との協力の元、前立腺癌の I-125 小線源療法も行っています。



部長  
服部 英行  
(はっとり ひでゆき)



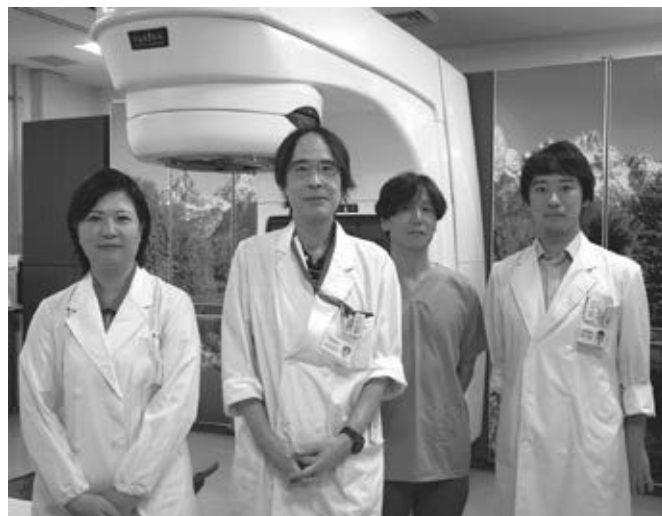
医長  
乳腺外科兼任  
國又 肇  
(くにまた はじめ)



医長  
張 琳  
(ちよう りん)



医長  
吉村 幸洋  
(よしむら ゆきひろ)



### 当科で施行可能な検査 (IVR : X線透視・CTガイド下での低侵襲診断)

血管系 IVR/ 肺動静脈瘻に対する塞栓術 / 咯血や肺腫瘍に対する気管支動脈動注・塞栓術 / 腎動静脈奇形に対する塞栓術 / 腎や脾・骨盤内動脈瘤に対する塞栓術 / 肝腫瘍（肝細胞癌・転移性肝癌）や骨盤内腫瘍（膀胱癌・子宮頸癌など）に対する動脈塞栓術 / 消化管出血に対する塞栓術 / 血栓塞栓症に対する血栓溶解術 / 下大静脈フィルター留置術 / BRTO（バルーン閉塞下逆行性経静的脈硬化療法）/ 副腎静脈などのサンプリング / 肝細胞癌・腎腫瘍破裂に対する動脈塞栓術 / 非血管系 IVR/CT ガイド下生検（肺腫瘍・傍大動脈リンパ節・骨盤内腫瘍・脊椎を含む骨腫瘍など）/ CT ガイド下ドレナージ（肺膿瘍・骨盤内膿瘍など）